

## 1 学校教育の実態について（30分）

「開かれた学校づくり」が言われてから久しいのですが、地域にとって学校はいまだに見えにくいところのように感じます。しかし、その一方で、学校では「地域の教育力」が大きく期待されており、地域には戸惑いもあるのではないのでしょうか。

今回、西中学校において発生した事件においても、相当の時間が経過しておりますがその実態は見えてこず、憶測だけが広がっているようです。教育委員会においての適切な対応と適宜な情報の公開を強く望むものであります。

今後においてはこのような事故が起こらないよう願うとともに、議会としてできる事は何であるのかを認識するために鶴ヶ島市の教育の実態を知り、課題を共有することが重要であると考え以下の質問をします。

- (1) いじめ・不登校・問題行動等の実態と対応・課題について
- (2) 体力・学力の実態と対応・課題について
- (3) 地域の教育力の実態と対応・課題について
- (4) 教員の多忙さ・指導力の実態と対応・課題について

## 2 教育委員会の意思と役割について（30分）

教育行政の最重要課題の一つは、質の高い教育と教育環境の提供であると考えます。この意味においては、可能な限りの英知の結集と積極的な教育予算の確保が求められます。

当市では、平成19年から公民館事務が市長部局で補助執行され、そして現在では、市長部局の施設の統廃合の検討の中で、教育施設もこの対象になっております。行政全体が合理的に運営されることは歓迎すべきことではありますが、教育委員会機能や教育力の低下、そして教育施設の減少は市民の大きな不利益であります。

市民の「教育」を守ることは教育委員会の重要な役割であり、教育委員会が目指す「教育」について議会・市民も共有することが大切であると考え以下の質問をします。

- (1) 共有すべき学校教育の重要課題は
- (2) 不足している教育予算は
- (3) 教育施設の統廃合に関する考えは
- (4) 教育委員会に対する請願の取り扱いについて

市長  
教育委員会委員長

市長  
教育委員会委員長